

職業実践専門課程の基本情報について

学校名	設置認可年月日	校長名	所在地				
盛岡情報ビジネス 専門学校	昭和61年12月26日	工藤 昌雄	〒020-0021 岩手県盛岡市中央通3-2-17 (電話) 019-622-1500				
設置者名	設立認可年月日	代表者名	所在地				
学校法人龍澤学館	昭和38年3月14日	龍澤 正美	〒020-0025 岩手県盛岡市大沢川原3-4-1 (電話) 019-622-6357				
目的	今後更なる発展を遂げるデザイン分野において、コンテンツ産業分野に含まれる3DCG、グラフィック、映像等トータルで制作・活用できるクリエイターの育成が必要であり、IT技術を習得したビジネスパーソンとしてのスキルの習得も合わせて行う。コンテンツ産業の分野では、分業化と共に実務能力を持った人材確保が急務であり、3年制課程の特徴を活かしながら、複数分野の専門学習から学生自身の適性の見極めと、多数の企業連携により作品制作力の向上を図り即戦力として活躍できる人材の育成を目的とする。						
分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
工業	工業専門課程	総合デザイン科	平成27年文部科学省告示第14号	—			
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼間	2550	96	0	2784	0	0
単位時間							
生徒総定員	生徒実員	専任教員数	兼任教員数	総教員数			
60人	10人	1人	3人	4人			
学期制度	<ul style="list-style-type: none"> ■前期: 4月1日～9月30日 ■後期: 10月1日～翌年3月31日 	成績評価	<ul style="list-style-type: none"> ■成績表: 有 ■成績評価の基準・方法 生徒の平素の成績を評価				
長期休み	<ul style="list-style-type: none"> ■学年始: 4月1日～4月10日 ■夏季: 7月21日～8月20日 ■冬季: 12月21日～1月10日 ■学年末: 3月11日～3月31日 	卒業・進級条件	本校教育課程において1年間850単位時間以上、合計2,550単位時間以上を取得し、校長が教育課程を修了したと認めた者。				
生徒指導	<ul style="list-style-type: none"> ■クラス担任制: 有 ■長期欠席者への指導等の対応 家庭への連絡、担任・学科長・教務次長、学校長による面談を実施	課外活動	<ul style="list-style-type: none"> ■課外活動の種類 スポーツ大会、ボランティア				
就職等の状況	<ul style="list-style-type: none"> ■主な就職先、業界等 株式会社デジタルワークスエンターテインメント 株式会社クーシー 他	主な資格・検定等	<ul style="list-style-type: none"> ■就職率^{※1}: 100% ■卒業者に占める就職者の割合^{※2}: 100% ■その他 (平成27年度卒業者に関する平成28年3月31日時点の情報)				
			<ul style="list-style-type: none"> ■サークル活動: 有 <ul style="list-style-type: none"> ・色彩検定 ・Illustratorクリエイター能力認定試験 ・Photoshopクリエイター能力認定試験 				

中途退学 の現状	■中途退学者 0名 平成27年4月1日 在学者 11名 平成28年3月31日 在学者 10名	■中退率 0% 名(平成27年4月8日 入学者を含む) 名(平成28年3月2日 卒業者を含む)
	■中途退学の主な理由	
	■中退防止のための取組 出席不良者への、本人および保護者面談の実施。二者面談や個別相談による状況のヒアリングを行っている。	
ホームページ	盛岡情報ビジネス専門学校ホームページ URL: http://morijyobi.ac.jp/	

※1「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」の定義による。

①「就職率」については、就職希望者に占める就職者の割合をいい、調査時点における就職者数を就職希望者で除したものとする。

②「就職率」における「就職者」とは、正規の職員(1年以上の非正規の職員として就職した者を含む)として最終的に就職した者(企業等から採用通知などが出された者)をいう。

③「就職率」における「就職希望者」とは、卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者をいい、卒業後の進路として「進学」「自営業」「家事手伝い」「留年」「資格取得」などを希望する者は含まない。

(「就職(内定)状況調査」における調査対象の抽出のための母集団となる学生等は、卒業年次に在籍している学生等としている。ただし、卒業の見込みのない者、休学中の者、留学生、聴講生、科目等履修生、研究生及び夜間部、医学科、歯学科、獣医学科、大学院、専攻科、別科の学生は除いている。)

※2「学校基本調査」の定義による。

全卒業生数のうち就職者総数の占める割合をいう。

「就職」とは給料、賃金、報酬その他経常的な収入を得る仕事に就くことをいう。自家・自営業に就いた者は含めるが、家事手伝い、臨時的な仕事に就いた者は就職者とはしない(就職したが就職先が不明の者は就職者として扱う。)

1. 教育課程の編成

(教育課程の編成における企業等との連携に関する基本方針)

教育課程の編成を行うにあたり企業等と連携する上では、本校の「本校は、地域社会の発展に貢献するため、常に流動、進展を続ける社会情勢に即応できる人材の育成を行うことを目的とする」という教育理念を理解いただき、次代を担う人材の育成を企業等と学校が共に行っていくことに賛同いただける企業等と連携することを基本方針とする。

学生が、就業先の企業等において即戦力となり、将来的には業界の発展に寄与できる力を身につけるための連携を実施している。デザインの主な分野としては、グラフィックデザイン、デジタルデザイン、スペースデザイン、プロダクトデザイン、ファッションデザインだけでなく、写真や映像、音楽、芸術等も含まれる。近年の情報のデジタル化に対応しながら、それらの制作や商品化のためには、デザイン知識に限らず、デザインの活用方法全般について習得する必要がある。

また、顧客との打合せや職場での円滑な業務遂行のためには、コミュニケーション能力や職業人意識、ビジネスマナーの重要性を理解することについても企業等からの要望として顕在化している。当該専門課程の徹底による知識、技術の習得を基本としながらも、「デザイン概論Ⅰ」「デザイン概論Ⅱ」「オーサリングデザイン」等による実践課程による対応力の習得と主体的な行動の習慣化を目指している。

また、これらを定期的に職員会に諮り、学生の実態も合わせて考慮しながら、より効果的な教育課程の編成を検討していく。

(教育課程編成委員会等の全委員の名簿)

平成27年4月10日現在

名 前	所 属
工藤 昌雄	盛岡情報ビジネス専門学校
谷藤 修栄	盛岡情報ビジネス専門学校
中山 将孝	盛岡情報ビジネス専門学校
佐々木 勇	岩手県情報サービス産業協会
門前 公基	盛岡商工会議所
村上 由美子	岩手デザイナー協会
佐々木 誠	株式会社IBCソフトアルファ
高橋 正樹	株式会社IBCソフトアルファ
菊池 彰洋	エクナ株式会社
圓子 和久	株式会社ベルプラス
高橋 義則	株式会社北日本銀行
内村 豊	有限会社クリップ
三上 昌也	株式会社CRAVA
細川 潤哉	盛岡情報ビジネス専門学校
齋藤 由夫	盛岡情報ビジネス専門学校
下山 愛弥	盛岡情報ビジネス専門学校

(開催日時)

第1回 平成27年5月29日 15:00~16:30

第2回 平成27年10月9日 15:00~16:00

2. 主な実習・演習等

(実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針)

- 以前から連携を図ってきた企業・団体であり、主に下記の内容を選定の基準としている。
- ・連携を行うことで同時に地域への貢献にも寄与するという目的を達成できること。
 - ・ヒアリングを通して学生に様々な知識を提供いただける等、学生の育成のために授業の一環として学生を育てるという目的において、強い想いを持って協力いただけること。
 - ・「デザイン概論」や「デザインツール」、「色彩理論」等の授業で習得した技術及び研究によって学んだスキルを活かすような経験の場を提供いただけること。
 - ・連携を通して社会で必要とされるグラフィックデザインや広告、POPの効果・重要性を知るという成果を得られること。
 - ・連携を通して、地域貢献の意義を学ぶことや組織全体で取り組んでいくための情報共有を図るといふ成果を得られること。

科目名	科目概要	連携企業等
デザイン概論Ⅰ デザイン概論Ⅱ オーサリングデザイン	商店街全域としての活性化の連携、各店舗の販売支援、企画運営、外部の団体との連携等、地域からグローバルに情報発信する一翼としての経験を通して、実務レベルでのサービス、販売支援、商品提供、ホームページの構築、イベント運営についての知識を身に付け、仕事に対する心構え等意識づけを行うとともに、自ら情報発信できる人材育成を目的とする。 学生自身が商店街及び各店舗と関わりを持つ中で、実際の業務内容についての理解、職場の方々との情報共有、コミュニケーション能力の向上など経験を通して、組織の一員として働くことの意義を学ぶ。サービスの重要性を理解する中で自己研鑽に繋がるものとし、終了後、自己の強みや課題について振り返り、就職活動および社会活動に活かす。 また、各学年が連携することによる情報の継承で問題点・課題の解決し、先の連携へと結びつける。	盛岡大通商店街協同組合

3. 教員の研修等

(教員の研修等の基本方針)

- 本校・本学科の教員として必要な知識、技術、技能や授業および、学生への指導力について計画的に教育し、向上させることを目的に、校内・校外において実施される研修等への参加機会を積極的に設けることを「盛岡情報ビジネス専門学校 教育研修規定」により定め、組織的に取り組んでいく。
- ここでいう研修等には、企業・団体等から講師を招いて学生で行う研修や、学外で企業・団体等が主催して行われる研修等への参加だけではなく、自己啓発活動への援助も含む。

4. 学校関係者評価

(学校関係者評価委員会の全委員の名簿)

平成27年4月10日現在

名 前	所 属
高橋 義則	株式会社北日本銀行
内村 豊	有限会社クリップ
高橋 正樹	株式会社IBCソフトアルファ
尾田川 裕二	株式会社グレープシステム
菊池 那紀	エクナ株式会社
伊藤 政幸	盛岡情報ビジネス専門学校
下山 愛弥	盛岡情報ビジネス専門学校

(学校関係者評価結果の公表方法)

URL: <http://morijyobi.ac.jp/>

5. 情報提供

(情報提供の方法)

- ・ホームページ
盛岡情報ビジネス専門学校ホームページ URL: <http://morijyobi.ac.jp/>
MCL専門学校グループホームページ URL: <http://www.mclnet.jp/>
- ・入学案内パンフレット
- ・募集要項

授業科目等の概要

(工業専門課程総合デザイン科) 平成27年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			デザイン概論Ⅰ	印刷、インターネット、映像、建築などの分野を横断しながら、様々な分野に対応できる知識習得を図るものとする。	1通	320		△		○	△	○		○	○
○			作品制作	指定課題（各専門分野）の作品制作を通し、実践的な技術活用方法を学習する。	1通	192		△		○	○		○		
○			デザインツールⅠ	ビットマップ画像、ベクター画像のそれぞれの特徴を生かしながらの作品制作に加え、両ソフトのデータ互換までの習得を図る。	1通	160		△		○	○		○		
○			色彩理論	色彩検定の習得を目指すことで、知識の一定の定着を図るものとする。	1通	96		○		△	○		○		
○			基礎教養Ⅰ	一般教養問題、SPIなどを学習する。	1通	192		△		○	○			○	
○			デザイン概論Ⅱ	自己表現技法やプレゼンテーション技法についての知識を習得し、実習を通して実践的な能力の向上を目指す。	2通	256		△		○	○		○		○
○			作品プロジェクト制作	各専門分野企業からの指定課題の作品制作を通して、実践的な技術活用方法を学習する。	2通	192				○	○		○		
○			デザインツールⅡ	デザイン系企業の業界理解を深めながら、企業へのポートフォリオを制作する。加えて、実際にインターンシップを行い社会人として即戦力となる能力の育成を目指す。	2通	256		△		○	○			○	
○			基礎教養Ⅱ	一般教養問題、SPIなどを学習する。	2通	192		△		○	○			○	
○			業界研究Ⅰ	業界研究や企業研究の方法を学習し、実習を通して実際に活用が可能な知識の習得を図る。	2通	64		△		○	△	○	○		
○			オーサリングデザイン	印刷、インターネット、映像、建築などの分野を横断しながら、ワンソースマルチユースに対応できる知識習得を図るものとする。	3通	224		△		○	△	○		○	○

○		デザイン実習	企業が求める機能を正確に把握し、その要件を満たす製品を作り上げるという取り組みを通して、チームによる開発、スケジュール管理、打ち合わせなどを体験する。	3通	224		△		○	○		○		
○		テーマ作品制作	学習した専門技術を元に、自由課題の作品制作を行う。	3通	256		△		○	○		○		
○		基礎教養Ⅲ	一般教養問題、SPIなどを学習する。	3通	192		△		○	○		○		
○		業界研究Ⅱ	様々な実務に関する知識を学習し、実習を通して実践的な能力の向上を目指す。	3通	64		△		○	△	○		○	
合計				15	科目	2880	単位時間(単位)					

卒業要件及び履修方法		授業期間等	
本校教育課程において1年間850単位時間以上、合計2,550単位時間以上を取得し、校長が教育課程を修了したと認めた者。		1学年の学期区分	2期
		1学期の授業期間	20週

(留意事項)

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 2 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。